

第一問

(五)	間	こ	時	を	え	世	(四)	(三)	(二)	(一)
a	の	と	的	左	ぬ	界	<p>顔が、仮面において自分にも見えぬ固定した像として他者に承えられること。</p> <p>人路の表れとして他者に認められず、自ら確認できないまま常に変化すること。</p> <p>信念を脱した今日でも、仮面は芸能や遊戯などの場面で使われていること。</p> <p>仮面をかぶった者に神霊が依り憑くことで、その力を活かせるという宗教的</p> <p>地域や民族、時代の違いを超えた人間の本性を探る手がかりとならうということ。</p> <p>多様な仮面の文化に見られる類似した慣習や信念を考察することは、</p>	<p>多様な仮面の文化に見られる類似した慣習や信念を考察することは、</p> <p>地域や民族、時代の違いを超えた人間の本性を探る手がかりとならうということ。</p> <p>仮面をかぶった者に神霊が依り憑くことで、その力を活かせるという宗教的</p> <p>信念を脱した今日でも、仮面は芸能や遊戯などの場面で使われていること。</p> <p>人路の表れとして他者に認められず、自ら確認できないまま常に変化すること。</p> <p>顔が、仮面において自分にも見えぬ固定した像として他者に承えられること。</p>	<p>多様な仮面の文化に見られる類似した慣習や信念を考察することは、</p> <p>地域や民族、時代の違いを超えた人間の本性を探る手がかりとならうということ。</p> <p>仮面をかぶった者に神霊が依り憑くことで、その力を活かせるという宗教的</p> <p>信念を脱した今日でも、仮面は芸能や遊戯などの場面で使われていること。</p> <p>人路の表れとして他者に認められず、自ら確認できないまま常に変化すること。</p> <p>顔が、仮面において自分にも見えぬ固定した像として他者に承えられること。</p>	<p>多様な仮面の文化に見られる類似した慣習や信念を考察することは、</p> <p>地域や民族、時代の違いを超えた人間の本性を探る手がかりとならうということ。</p> <p>仮面をかぶった者に神霊が依り憑くことで、その力を活かせるという宗教的</p> <p>信念を脱した今日でも、仮面は芸能や遊戯などの場面で使われていること。</p> <p>人路の表れとして他者に認められず、自ら確認できないまま常に変化すること。</p> <p>顔が、仮面において自分にも見えぬ固定した像として他者に承えられること。</p>
狩	根	で	に	右	ま					
獵	源	世	せ	し	ま					
b	的	界	よ	な	が					
遂	な	や		が	路					
c	思	自	仮	ら	を					
衝	考	己	面	人	表					
撃	や	を	に	間	す					
	行	変	よ	に	顔					
	動	え	は	の	つ					
	が	よ	て	不	よ					
	う	う	可	可	う					
	か	と	視	知	に					
	が	す	化	な						
	え	る	し	も	人					
	る	点	制	の	間					
	こ	に	御	を	の					
	と		す		存					
	。人	る	一		在					
					見					

第二問

(三)	(二)	(一)		
<p>耳を売った僧がより多くの布施を求め、欲深い心になったと、いうこと。</p>	<p>酒好きを隠して、信仰が厚い高僧らしく見せたことから。</p>	<p>ウ 私に代わって、お出向きくださいよ</p>	<p>イ 耳にだけは幸運の相がおありになるが、そのほかには見えない</p>	<p>ア ください。あなたの耳を買おう</p>

第三問

(三)	(二)	(一)		
		d	c	b
な補佐役は不要だということ。	<p> 劬よお前自身はまだ災難を避けることができるだろう。 君主が政治上の過ちを犯した時、諫めようとしないうる。 </p>	<p> 治世を支える </p>	<p> 言葉を包み隠さず </p>	<p> 過去の歴史書は何曾を称賛し </p>